

水産業強化支援事業事後評価報告書

		静岡県
政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	経営構造改善目標	29-31
事業実施主体	清水漁業協同組合	
実施地区名	清水・用宗地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成29年度～30年度	令和5年度
交付金額	105, 112, 000円	
事業計画の内容	荷さばき施設(地方卸売市場)の新設	
評価	成果目標	漁労所得の向上
	現状値	漁労所得 13, 818千円（令和5年度末時点）
	目標値	漁労所得 9, 723千円（令和5年度末）
	(1) 現状値の説明	黒潮大蛇行等の影響を受け、用宗地区・清水地区の漁業者のしらす水揚量は、水産業強化計画前5年間の平均1, 124, 547kgから、令和5年は525, 618kgと大きく減少している。静岡県全体でのしらすの漁獲量も、用宗と同様、令和5年の漁獲量は、平成23年～平成27年の平均の3割程度と大きく減少している（次表参照）。一方で、不漁の影響で加工業者の在庫が減少したこと、用宗漁港荷さばき施設においては施設改修により衛生的で効率的な荷さばきができたこと等により、魚価は上昇し、成果目標見直し後の計画値を上回る漁労所得の増加につながった。
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	衛生管理型荷さばき施設の整備により、仲買人とバイヤーとの現場商談が行われるようになり、しらすの販売拡大に寄与したのではないかと考えられる。
(3) 所見	施設整備により漁獲物の直置き解消、車輛の侵入等がなくなり、衛生管理が実施され、安心安全な漁獲物が、提供されている。水揚げ作業等も簡素化され、フォークリフト、パトリア等の使用により、人的作業が減少され、施設整備の効果は現れていると考えられる。	
(4) 評価機関の意見等	該当なし	